

スマートシティ会津若松共創会議について

スマートシティ会津若松の取組状況等について

会津若松市企画政策部 副参事

企画調整課スマートシティ推進室長 本島 靖

■「スマートシティ会津若松」の主な経過

- 平成5年
ICT専門大学 会津大学 開学



- 平成29年2月
「第7次総合計画」策定
⇒スマートシティをまちづくり
のコンセプトに位置づけ

- 平成31年4月
スマートシティAiCT開所

- 令和3年12月
岸田総理大臣 視察
⇒「会津若松市の取組を
全国で共有する」といった先
進事例としての評価



- 平成23年3月
東日本大震災 発生

- 平成25年2月
スマートシティを施政方針
に掲げる

- 平成27年
会津若松+（都市OS）整備



- 令和3年8月
スマートシティAiCT満室に



- 令和4年4月
市・会津大学・AiCTコンソーシア
ムの3者において、「スマートシティ
会津若松」の推進に関する基本協
定を締結

- 令和4年6月
デジタル田園都市国家構想推進
交付金 Type3に採択
⇒データ連携基盤による分野間
連携したデジタルサービス実装を目
指す

■「スマートシティ会津若松」の推進に関する基本協定の締結 (令和4年4月20日)

取組を推進するパートナー



公立大学法人会津大学

日本初のコンピュータ理工学の専門大学として平成5年に開学。

医療、AI、宇宙と研究対象は

幅広く、国内外での評価も高い。
地域内外で活躍する優秀な人材を育成するとともに、大学発ベンチャー企業も多数輩出。



OPEN MY EYES

(一社) AiCTコンソーシアム

令和3年6月に設立。スマートシティAiCTの入居企業、地元の企業や団体など約80社の

会員により構成され、各企業の枠を超えた取組を実践。会津地域でスマートシティを推進し、地域DXの実現を目指す。



会津大学
宮崎学長

会津若松市
室井市長

AiCTコンソーシアム
海老原代表理事

基本協定の項目

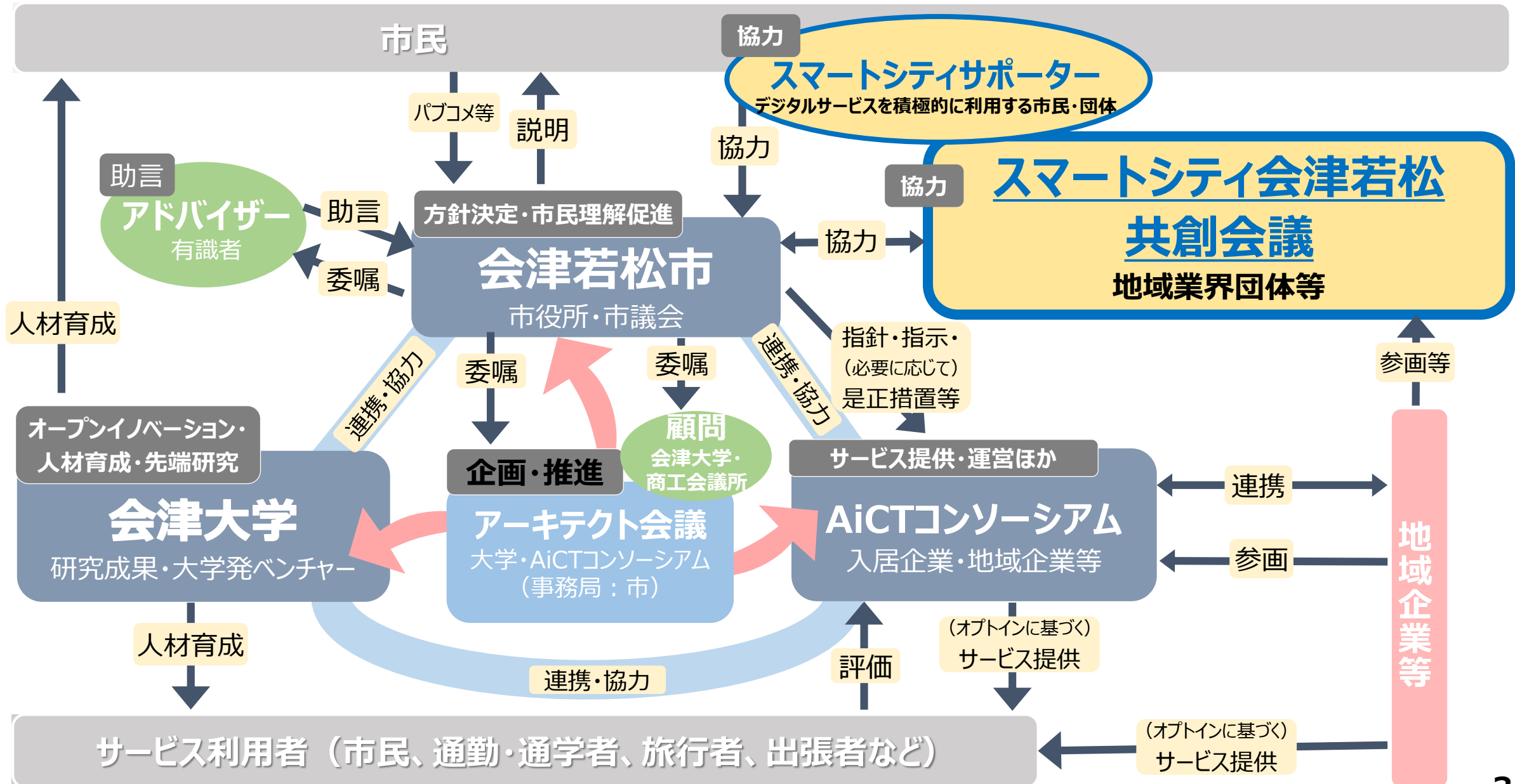
「スマートシティ会津若松」の推進に関すること。

地域の将来を担うデジタル人材の育成に関すること。

地域社会のためのスマートシティ推進に関すること。

その他目的を達成するために必要な事項に関すること。

■「スマートシティ会津若松共創会議」 設立の目的・ねらい



電子掲示板のイメージ



グループに登録されている活動一覧
15件の活動が登録されています

事務局 (SCA共創会議)

期間が設定されていません

活動ページへ 4人が参加中

ANF (SCA共創会議)

期間が設定されていません

活動ページへ 1人が参加中

会津よつば農協 (SCA共創会議)

期間が設定されていません

活動ページへ 1人が参加中

タクシー協会 (SCA共創会議)

期間が設定されていません



タイムライン ファイル共有 スケジュール

この活動の掲示板

OK スレッド

コメントをする アンケートを作る

会津若松市 スマートシティ推進室
[投稿を削除] 2022年10月26日 13:36

スマートシティ推進室です。
共創会議の管理者に登録されました。
よろしくお祈いします。
(この活動のurl)
https://aibear.jp/project.php?p_id=746

2人が読みました コメントをする

本島 靖 2022年10月12日 19:01
[投稿を削除]

スマートシティ共創会議を電子掲示板で運用していくにあたり、あいべあの掲示板機能を活用していきます。
しばらく試行錯誤が必要かと思いますが、ひとまず環境を設定してみました。

1人が読みました コメントをする

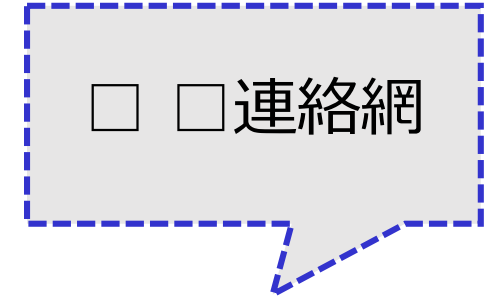
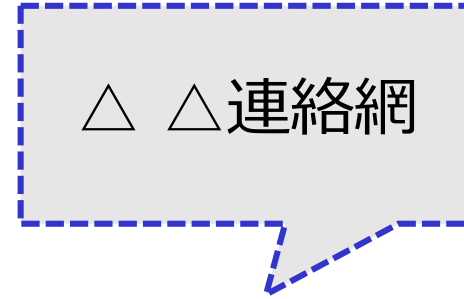
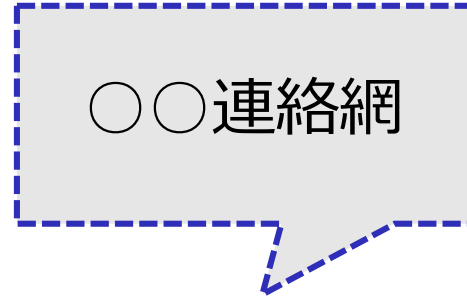
電子掲示板のイメージ

連絡網や掲示板に書込まれた内容は、その都度、メールで通知されます。（あいべあの機能）

連絡網や掲示板の追加や公開設定などの変更は、事務局で適宜対応します。

スマートシティ会津若松 共創会議（グループ）

※ 連絡網の書込みは非公開です。（連絡網の中だけで情報共有）



※ 掲示板の書込みは共創会議内で公開です。（共創会議の中で情報共有）

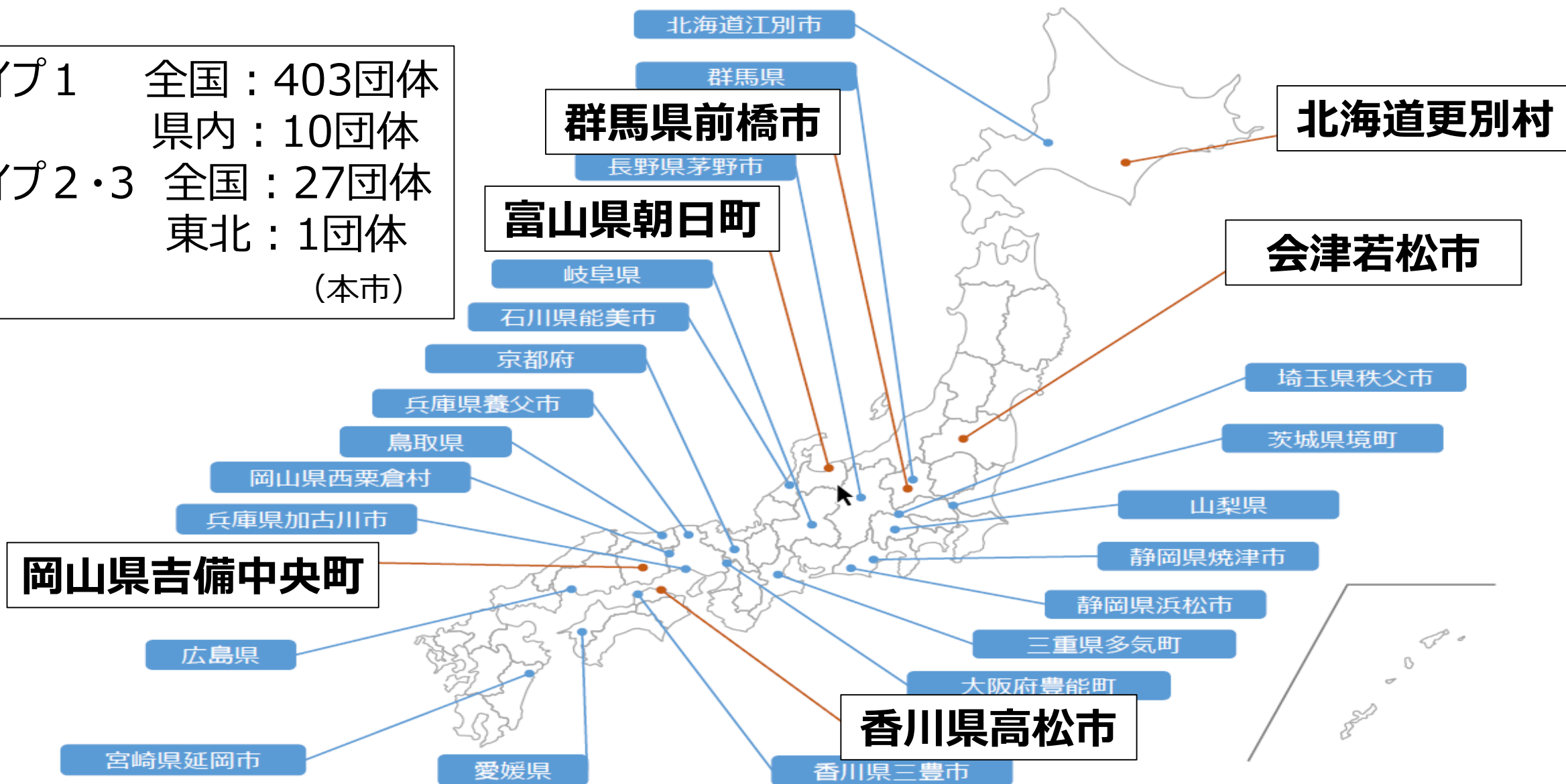


スマートシティ会津若松共創会議について
スマートシティ会津若松の取組状況等について

会津若松市企画政策部 副参事
企画調整課スマートシティ推進室長 本島 靖

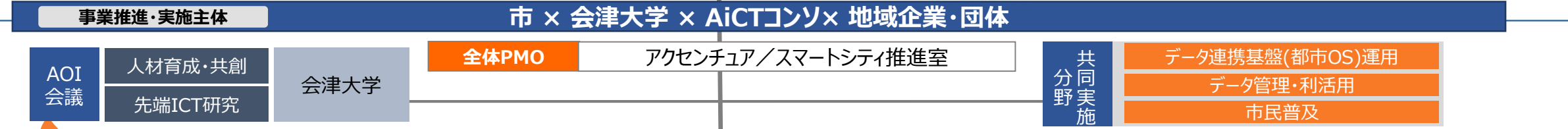
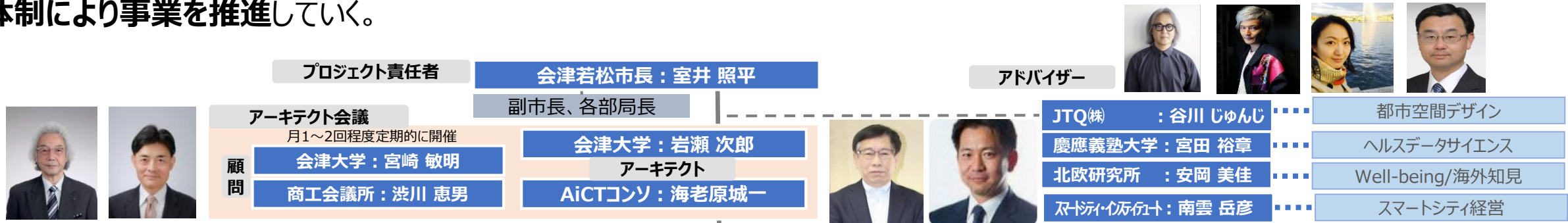
今年6月、会津若松市は「デジタル田園都市国家構想推進交付金タイプ3」に採択されました。

タイプ1 全国：403団体
県内：10団体
タイプ2・3 全国：27団体
東北：1団体
(本市)



デジタル田園都市国家構想推進交付金事業の推進体制

AiCTコンソーシアムを基軸とし、各分野ごとにリーダー企業、参画企業、地元企業・団体、市担当課による**実効性のある連携・実施体制により事業を推進していく。**



分野別の推進体制（コンソ各WGリーダー企業/コンソ主な参画企業/地域企業・団体/市担当課）※

各分野別のWGについては、プロジェクトの進行に応じて高頻度で開催（月に数回） WGのメンバーはプロジェクトの内容・進行により幅広く連携・調整

分野WG / 役割	食・農業	観光	ヘルスケア	防災	行政	エネルギー	廃棄物	教育	ものづくり
WG統括	凸版印刷	アクセント	アクセント	ソフトバンク	アクセント	バンブージャパン	SAP	凸版印刷	SAP
開発・運営	PLANT DATA/エヌ・エス・シー	ソフトバンク/CCC	テレメディス/富士通/オムロン/ソフトバンク、TIS/HumanAPI	損保ジャパン/アクセント	BSN/エフコム				
開発・運営 (地元企業・団体)	会津中央青果/つろぎ宿/トットネット	NSC/ADD/テザイ/サムライマアス	竹田総合病院/そね内科等5医院、クオール	自主防災組織/包括支援センター	シンク				
市担当課	農政課	観光課/スマートシティ推進室	健康増進課	危機管理課/高齢福祉課	情報統計課	環境生活課	廃棄物対策課	学校教育課/こども家庭課/こども保育課	企業立地課
	TIS	東芝データ/みずほ銀行/明治安田	ヨークハニマル門田店	商工課	決済				
	三菱商事			地域づくり課	モビリティ				
	パナソニック			まちづくり整備課	地域活性化				

本市のデジタル田園都市国家構想の概要

実施地域	会津若松市	事業費	83,020万円
実施主体	会津若松市、一般社団法人AiCTコンソーシアム、公立大学法人会津大学 他		
事業概要	本市の人口減少の大きな要因となっている若年層の転出超過を抑制し、地元で「暮らし続けることのできるまち」「暮らし続けたいまち」を実現する為、地域産業基盤強化のための地域産業DXとWell-Beingを向上する市民生活DXの取組として、ICTオフィス「スマートシティAiCT」を中心とするICT産業の集積など約10年にわたるスマートシティの取組の成果を活かしながら、「食・農業」「観光」「決済」「ヘルスケア」「防災」「行政」等の各分野にわたるデータ連携と付加価値の創出に繋がるデジタルサービスを実装する。		



10月からのサービスイメージ（以降も順次拡大予定）

- 農産物の需給マッチングを行い、地産地消を優先した新しい流通網を構築。生産者の所得向上や販路拡大に貢献
- 10月、まずは青果物の生産者と実需者による需給マッチングからスタート

今まで

アナログでの受発注



受発注は電話やFAXで

規格外品は廃棄



JA基準に合わない規格外品はほとんどを廃棄

JAや実需者まで生産者が配送



JAや道の駅等へ自家用車で持ち込み

これから

PC/スマホからアクセス



地域内における需要と供給の可視化

規格外品でも販売可能



規格外品でも需要側とマッチングすれば有効活用

スマートロジスティクス



専門の配送担当が生産者の軒先まで最適なルートで集荷して配送

サービス概要



本サービスのご利用には申し込みが必要となります

10月-

供給/需要自動マッチング



- ・生産者起点(供給)のマッチング
- ・実需者起点(需要)のマッチング
- ・最適なマッチング相手を自動で推薦
- ・LINE連携

10月-

AIルーティング・配送マッチング



- ・複数の生産者・消費者を繋ぐ集出荷経路を最適化し、理想的な配送を実現
- ・配送マッチングサービスを活用し地元の配送事業者を選定

10月からのサービスイメージ（以降も順次拡大予定）

- 会津若松にスマートシティ視察に訪れる方の「視察▶観光」をサポート、地域経済の活性化につなげる
- 9月:視察受付・旅程管理の一元化、10月:飲食店の情報配信や状況可視化から先行スタート



視察者の
ニーズ



スマートシティ会津若松の
取組を視察したい
でも…



どこに問合せしたら？
オススメの視察ルートは？



会津若松の良い飲食店を
見つけたい
でも…



どんなお店がある？
場所や連絡先は？



予約していないけど入れる
お店を知りたい
でも…



いまお店は開いてる？
席に空きはある？

サービス
概要

9月- 視察受付・旅程管理の一元化



AiCTコンソーシアムの
webページにて
ワンストップで受付

視察先の提案、地元
旅行業者と連携し二
元的な旅程DB管理

視察受付ページは
こちらから→



10月- 飲食店の情報配信



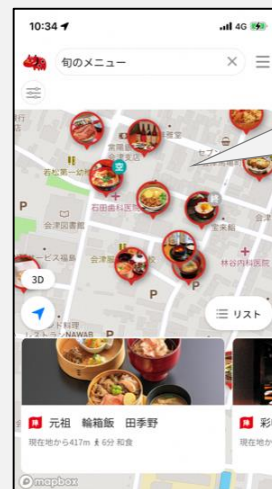
自治体が保有する飲
食店情報(観光振興
施策の協力店等)や地
元の名店情報を収集

アプリとデータ連携して
最新情報を配信

Webアプリの利用は
こちらから→



10月- 飲食店の状況可視化



元気に営業中
満員御礼
L.O.終了
営業時間外

飲食店が
センサーで
開店状況を
発信し、
地図上に
リアルタイム
情報を表示

飲食店の開店状況や
混雑状況を可視化

Webアプリの利用は
こちらから→



10月からのサービスイメージ（以降も順次拡大予定）

- デジタル地域通貨「会津コイン」を、デジタル財布サービスの「会津財布」上で利用可能になる
- 10月、ヨークベニマル門田店での「一人、ひとりの買って健康プロジェクト」参加モニターによる利用から開始

チャージ・受け取り

使う

買い物後

現金



銀行やATMへ行き現金を引き出し



現金での支払い
店舗は現金管理が必要に



他サービスとの連携は困難

一般的な
キャッシュレス



クレジットカードや銀行口座、チャージ機等からチャージ



スマホや専用カードでの支払い
店舗は決済機器が必要なケースが多い



ポイントの還元などあり
一方で、知らないところで購買データが売買されることも

デジタル
地域通貨



対象店舗での買い物に応じた会津コイン付与から開始



QRコードを読み取って支払い
店舗は決済機器の導入不要



オプトインに基づく購買データを活用した栄養管理サービスと連携

サービスの
概要

10月-

会津財布での会津コイン取得

10月-

QRコード読込で支払い

10月-

栄養管理サービス「シルタス」との連携

会津財布アプリのDLはこちらから→



買健プロジェクトへの参加はこちらから→



「一人、ひとりの買って健康プロジェクト」への参加により利用可能に



対象店舗で会津財布アプリからQRコードを読み込んで支払い



シルタスに購買データを連携し、栄養分析とアドバイスを実施

シルタスアプリのDLはこちらから→



会津財布

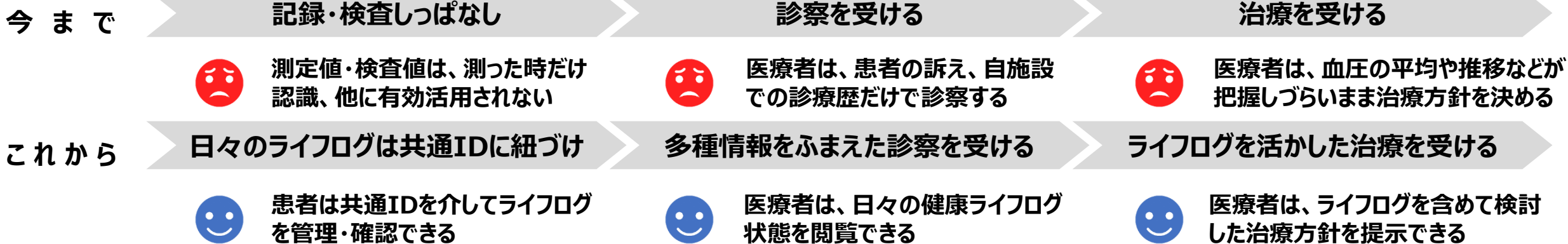


シルタス



10月からのサービスイメージ（以降も順次拡大予定）

- 共通IDをキーとし、市民/患者毎に統合されたPHR/EHR情報を、市民・医療者が同一のプラットフォームで閲覧
- 病院へのプラットフォーム導入、都市OSとのID連携より開始



サービス概要

TIS
ヘルスケアパスポート
DLはこちらから→



y4.com
Vitalgainの
DLはこちらから→



10月- IoTから収集されるライフログ情報を市民へ可視化

- IoTから収集されるライフログデータをAPIを通じて患者側で閲覧できる



10月- 地域ID連携がされている患者のライフログを医療機関で閲覧

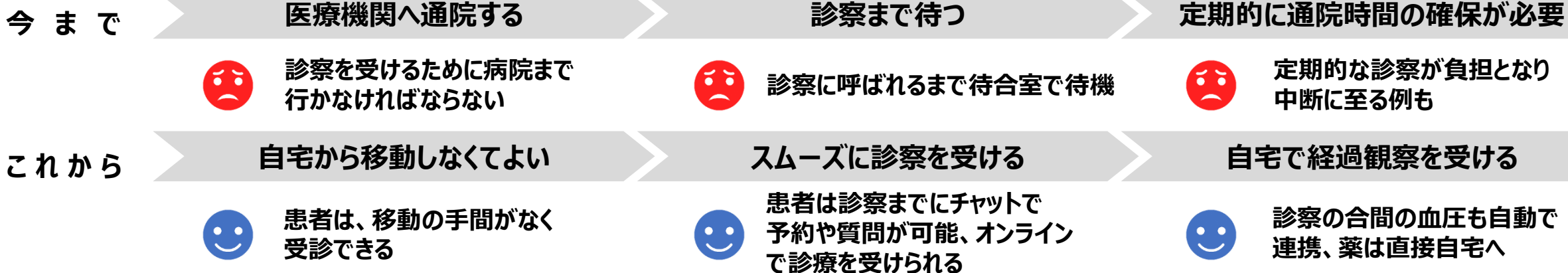
- IoTから収集されたライフログデータを竹田総合病院側でも閲覧できるため、日々の状況に合わせた診療提案が可能



医療機関側でバイタル情報を確認可能

10月からのサービスイメージ（以降も順次拡大予定）

■ 10月より、家庭血圧のモニタリング・オンライン診療への連携を開始



サービス概要

10月- 家庭血圧のオンライン診療

- IoT対応の血圧計が貸与され、家庭血圧がモニタリングされる他、スマホでオンライン診療への連携が可能

10月- 家庭血圧のモニタリング・チャット相談

- 会津若松+でログインし、日々の血圧推移の確認やチャットでの相談をスマホで行うことが可能

患者側画面

テレメディーズBP



医者側画面



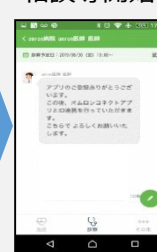
会津若松+ ログイン



規約等同意



チャット相談等開始



テレメディーズ
テレメディーズBP
DLはこちらから→



10月からのサービスイメージ（以降も順次拡大予定）

- 位置情報を活用したスマホでのハザードマップの閲覧、避難誘導、安否回答・確認ができるサービス
- 在宅ケア支援アプリ「ケアエール」と連携し、支援者・要支援者の災害時の行動・連絡をスムーズにサポート可能に
- 10月、市内の一部地域等を対象とした先行リリースを開始



※本サービスは、一部地域等を対象とした先行リリース段階であり、3月末までの全市民向けリリースを目指しています

10月からのサービスイメージ（以降も順次拡大予定）

- 行政手続きを、デジタルを使って“どこでも”、“一度に”、“書かないで”できるようにする
- 10月から、「転入・転出・転居届とそれらに伴う各種手続き」よりスタート、対象手続は順次拡大予定

今まで

市役所に行く



仕事を休んで市役所に

何個も窓口を回る



複数の窓口を回らないとどこに行けばいいのかわからない

申請書を書く



何枚も申請書を書く同じ内容を何回も書く

これから

PC/スマホからアクセス



オンラインで申請ができるいつでも申請ができる

質問に答える



はい/いいえで質問に答えるだけで、必要な手続きがわかる

簡単入力



書かずに一回の入力でOK複数の申請書が一度に完成

サービス概要

10月- オンライン申請機能



手続きを選択すると「はい/いいえ」の質問が開始



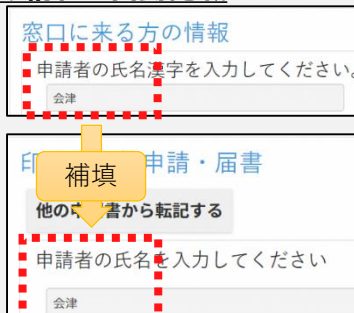
10月- 手続きナビ機能

質問へ全て回答すると今回必要な手続きをご案内



10月- 一括入力機能

同じ情報は再入力不要マイナンバーカードと連携し、氏名・住所等の情報は自動記載



10月- ぴったりサービス連携

マイナンバーカードの公的個人認証を活用し、手続きナビで作成した申請書及び申請用QRコードをぴったりサービスへデータ送信



Webアプリの利用はこちらから→



「スマートシティサポーター」制度のご案内

「スマートシティサポーター」制度とは

- 様々なデジタルサービスを体験できる場をご提供しながら、SNSなどを活用し、スマートシティ会津若松に関する市民間のコミュニケーションを活性化することを通じて、より便利で使いやすいサービスの実装や改良につなげていくことを目的に、市民の皆様等を対象とする「スマートシティサポーター」制度を創設します。
- 本年10月を目途に、「スマートシティサポーター」となっていたただける方の募集を開始します。
- 順次、市政だより等で募集や活動状況についてお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

＜スマートシティサポーター イメージ＞

